

「平成27年度 古川西小学校保護者アンケート」結果報告

飛騨市立古川西小学校 校長 森本 義彦

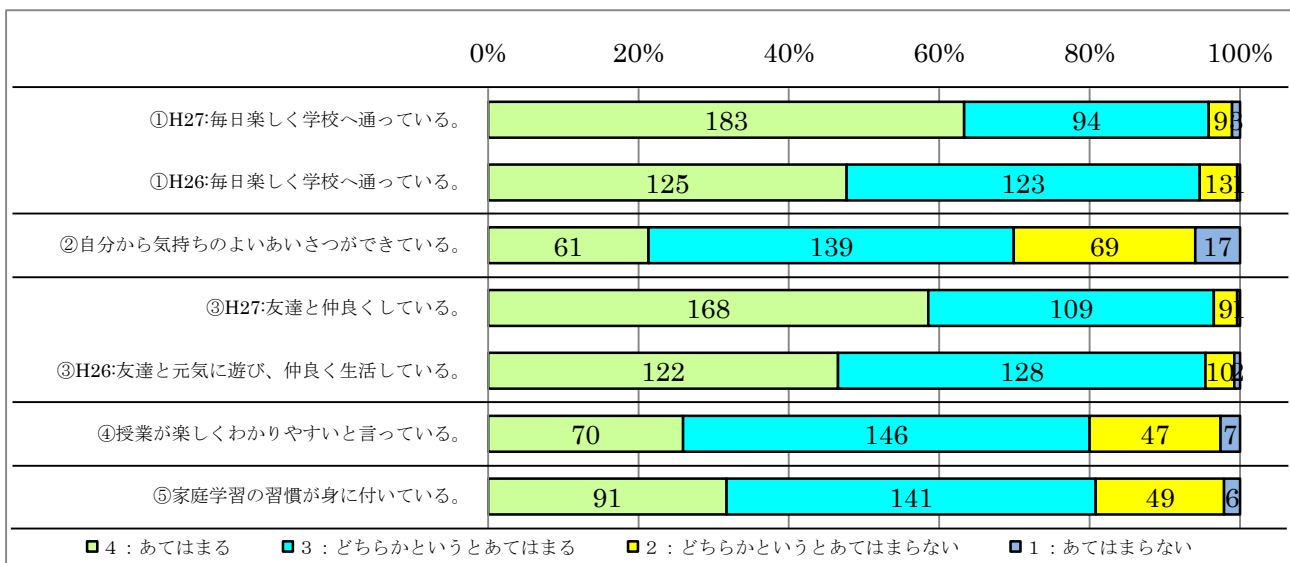
2学期末に古川西小学校の学校評価（保護者アンケート）を実施しましたところ、お忙しい中にもかかわらず、ご協力いただき誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

ご協力いただいた学校評価集計後、児童の学校生活アンケート、職員による学校評価も合わせて、時間をかけて全職員で分析や検討を行い、次年度の教育計画に反映させるよう取り組んでいるところです。つきましては、アンケートの集計やその結果に対する学校としての考え、また記入していただきましたご意見に対する学校としての考えや来年度から取り組むことについて、簡単に報告・説明させていただきます。尚、アンケート項目を昨年度と変更しています。昨年度と同じような項目については、比較してグラフにしてあります。

また、このアンケート結果を2月10日に実施しました学校評議員の会にて公開し、学校評議員さんのご意見をお伺いしましたので、それも併せて掲載させていただきました。

※お書きいただいたご意見等は、個人としての心配事以外全て掲載させていただきました。尚、誌面の関係上、丁寧にお書きいただいた文も全て常体で記載させていただいています。

【お子さんの姿から】



- ① ほとんどの児童について「楽しく学校へ通っている」と思っていただけいているのを大変ありがたく思います。このことが、学校の一番の基本と考えております。楽しく学校へ通うことができているお子さんもみえますので、「わかる授業づくり」「思いやりのある仲間関係づくり」に今後も力を入れていくと同時に、教育相談を大切に、どれだけでも楽しく学校へ通えるようにしていきます。
- ② 今年度は、あいさつに力を入れて指導してきました。年度当初とみると、朝、自分からあいさつしてくる子が増え、廊下ですれ違ったときに必ずあいさつする子も出てきています。しかし、保護者の皆様の評価通り、まだまだ十分とは言えません。28年度も「あいさつ」を重点指導項目とし、さらに、家庭・地域との連携を図りながら、どのような場でも自分から進んで明るく気持ちのよいあいさつのできる子に育てていきます。
- ③ 「さん」付けで名前を呼び合うことや、「ありがとうの木」の取組で仲間同士を認め合う活動などを通して、「仲間を大切にする子」にしようと努めてまいりました。28年度は、さらに仲間関係をよくするために、これまでの取組に加えて子どもたち同士で話し合うことを大切に、よりよい仲間関係を築いていくことができるよう努力していきます。

- ④ 学校生活の大半は授業です。ですから、「授業がわかりやすい」ということは何より大切なことと考えています。教材を工夫したり、教え方を工夫したりしながら仲間と学び合うことで、どの子にもわかりやすく深まりのある授業を目指します。
- ⑤ 学校で学習したことの定着には、家庭学習が大きく関係します。そして、中学へ進学すれば、自分で課題を見つけて学習する習慣が身に付いているか否かが、学力に大きく影響します。高学年になったら、「宿題だけでなく自分なりの目的をもった学習」ができるよう、学年段階に合わせて指導していきます。このような家庭学習習慣を身に付けさせるためには、ご家庭の協力が必須ですので、ご理解ご協力の程、よろしくお願いします。

【このアンケート項目に関する内容のご意見】

<①に関して>

嫌がらずに学校へ行き、学校での様子を毎日何かしら話してくれる。今後も、そんな当たり前の姿が見られるようにサポートしてもらいたい。
子どもがとても楽しく学校で勉強し、友達とも仲よく過ごしているようでありがたい。
先生がいつも子どものことを考えてくださっていてとても感謝している。おかげで、いつも元気に学校へ行ってくれる。
毎日楽しく学校へ通わせていただいている。担任の先生との会話や触れ合いも多く、楽しい学校生活の話聞かせてくれる。安心して学校へ通わせることができうれしく思っている。
クラスの雰囲気明るく、何か問題があっても担任の先生が連絡をくださるので助かる。子どもも先生が大好きなようだ。
子どもが楽しく学校へ行っているので、先生方が子どもたちにしっかりと接してくれているんだと実感している。
学校生活を安心して過ごせていることが本当にありがたい。
昔に比べると、学校が楽しいという子が多いのですごいと思う。
今のところ毎日楽しく学校へ通っている。この先も、嫌な思いをすることなく、楽しく通えることができればいいと思う。
子どもたちが、毎日楽しく学校へ通えていることをありがたく思っている。

<②に関して>

登下校で、高学年の子たちが元気よくあいさつしてくれる姿が微笑ましく、ちゃんと礼儀を身に付けさせてくださっているのだと感心している。
あいさつ運動はとてもよいと思う。おかげで、あいさつをする習慣ができた。
学校へ子どもを迎えに行くと、低学年の子が大きな声であいさつしてくれて素直に育っているなと感じた。
先日、あいさつについて考える機会があったようだ。時々、朝、外に立っていると、あいさつを返してくれなかったり、声が小さい子もいたりするので、そういった取組はとてもよいと思う。
あいさつ、元気にあいさつしてくれる子、しない子、性格にもよるだろうが差がある。先生の中にも、あいさつしてくれない人もいる。
学校では、あいさつを推進して下さっているのがよくわかる。しかし、学校以外であったときには、こちらからあいさつしても小さい声だったりする。古川の街中へ行くと、子どもさんからあいさつをされてドキッとすることがあるので、西小の子たちも、もっと積極的にあいさつして欲しいと思う。
自宅が通学路にある。子どもたちのあいさつは全くできていないと思う。中野の子はきちんとあいさつしてくれるが、その他の子はほとんどあいさつをしない。仕事で高山市の学校へ行くことがあるが、気持ちのよいあいさつをしてくれる。古西の子はどうなのか？学校の指導はどうなっているのか？
先日、自分の子の学年が「あいさつ」が出来ていないことを知り、正直驚いた。家でもあいさつのことなど話はしているが、人として一番基本的なことだと思うので、学校の方でも指導の方をよろしくお願いしたい。（朝、元気のない子も多い気がする）

アンケート結果のコメントでも述べさせていただきましたが、西小学校児童の弱さとして「あいさつ」と「声の大きさ」があります。そこで、PTA 総会でも説明させていただきましたが、今年度学校経営の重点指導項目として、「あいさつ」と「大きな声」を取り上げ、これまで取り組んできております。具体的には、

- ・ 毎朝、児童を迎え入れる職員は、児童に大きな声であいさつをする。
- ・ 始業式や終業式、児童集会で、毎回「あいさつ」についての話をする。
- ・ 各学級担任も、機に応じてあいさつの大切さや今の状況を話して啓発する。
- ・ 毎月、できたかできなかったかを児童に自己評価させ、目当てをもたせる。
- ・ 児童会でも、あいさつ運動やあいさつキャンペーンに取り組む。
- ・ 授業や集会でのあいさつの声が小さかったら、やり直しをする。

というようなことに取り組んできています。28年度も、この「あいさつ」を重点指導項目に入れ、どのような場でも自分から進んで明るく気持ちのよいあいさつができるように取り組んでいきますが、学校だけで指導してできることではありません。各家庭、地域、学校が力を合わせ、気持ちのよいあいさつが飛び交う古川西小校区にしていきたいと思います。

<③に関して>

子どもたちが少ない分、高学年から低学年まで仲よくできていることが素晴らしい。

3年生の子たちは男女仲がよいように思う。仲よく遊ぶ姿、教え合う姿を見ると嬉しい。

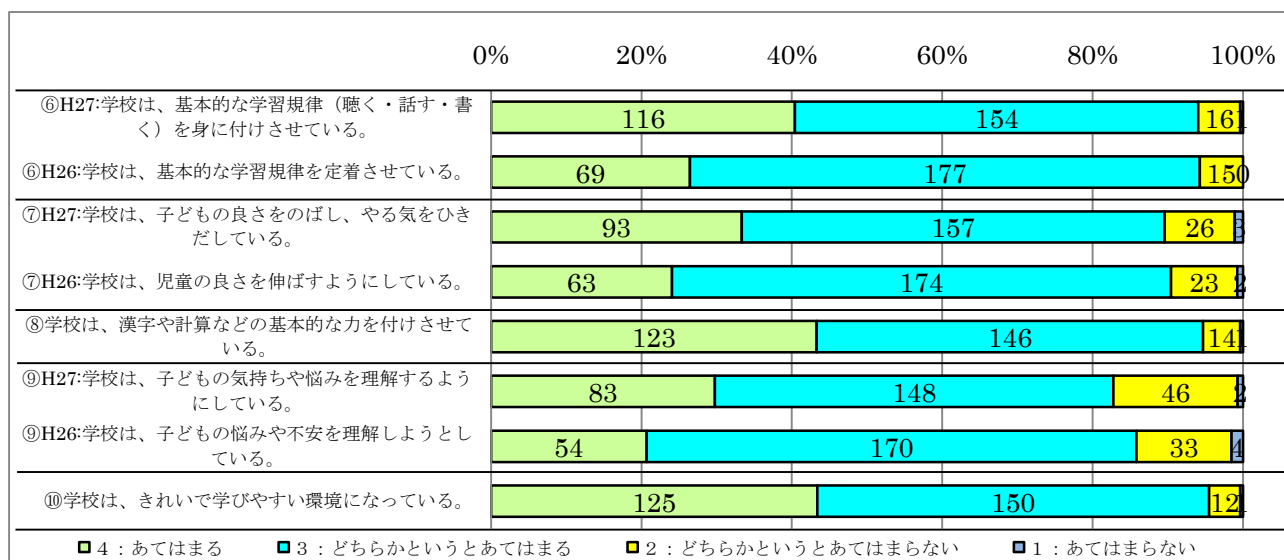
子どもたちの中にも、一部ではあるが友達をからかったりする子がいる。家庭にもいろいろな事情はあると思うが、からかわれた子の気持ちになってほしい。(中には、そういう子を注意できる子もいる。)

アンケート結果のコメントで述べさせていただいたように取り組んでいきます。

<④に関して>

授業を参観して、先生の授業が分かりやすいと思った。子どもも集中して取り組めるようになってきているし、姿勢もよくなっている。

【学校の指導について】



⑥ ~⑩ どの項目も、「あてはまる」と回答いただいた方の割合が多かったり、昨年度より増えたりしており、大変心強い限りです。今後も、子どもたち一人一人の心に寄り添い、理解し、その子に合った指導を行うことを大切にしていきます。

⑦ ⑨ 学校が子どものよさをのばしやる気を引き出しているかどうか、学校が子どもの気持ちや悩みを理解するようにしているかどうかについて、「あてはまらない」という方があり、「どちら

かというとはあてはまらない」という方も増えていることを重く受け止めたいと思います。今年度、『一人一人の子どもに寄り添い、やる気スイッチを入れる』という教師側の姿勢を大切にしてきました。来年度もこの姿勢の大切さを職員で共通理解し、一人一人の子どもに寄り添った指導、よさを伸ばしやる気を引き出していく指導を大切にしていきます。

- ⑩ 学校の環境整備につきましては、PTA 環境整備作業で池の掃除やグラウンド側溝の土砂上げ、校舎周りの草取りなどを行っていただいたり、参観日にガラス拭きをしていただいたり、保護者の皆様のお力をお借りすることができました。今後も、保護者の皆様のお力をお借りしながら、子どもたちが学ぶ環境を、よりよくしていきたいと考えています。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

【このアンケート項目に関する内容のご意見】

<⑥に関して>

授業では、発言できない子に気を配り、その子のそばへ行って問いかけなどをして、全員参加の授業を心掛けてみえるところが大変よいと思う。

連絡帳に時間割を書いてこない日が多いため、しっかり書いてくるように子どもに言うけどちゃんと書いてこない。声かけをしてもらえるとありがたい。

昨年からだ、クラス全体として、授業への集中力が極めて低いように感じる。勝手な発言や私語、姿勢の悪さも気になるが、特に、発表者の話を聞くという場面で、ざわつき、姿勢の悪さが残る中で発表をはじめるのがいつも気になる。聴く側の姿勢を正し、静かになるまで話し出してはいけないこと、人の話を聴くときの姿勢はどうするべきか、徹底して欲しい。

「話す人の目を見て、黙って最後まで聴く」は、飛騨市の小中学校が共通して取り組んでいる「飛騨市学習習慣確立指針」の1つです。どの学校も大切にしている指導内容です。本校でも、授業だけでなく、あらゆる場で身に付くよう指導してきており、達成率は88%ほどとなっています。このようなご指摘をいただかなくてもすむよう、今後、さらに指導を充実させ、100%を目指して取り組んでいきます。

<⑦に関して>

苦手なことがある子どもに対して、その子にあった指導方法を先生方が協力し合って行ってくださることにより、親として安心して学校に任せることができうれしい。

その子のよさを出してもらえている。

自主性を育んでもらえているところがよい。

担任の先生に、細かな点までよく見ていただいております、とても感謝しています。

子どものことを一人一人よく見てもらえ、よいところやこうしたらよいところなど、的確に教えていただけてありがたい。

子どもの弱点を担任の先生が把握し、個別に指導していただいている様子がうかがえる。

この6年間で、善悪の判断ができるよう指導いただいた。

『一人一人の子どもに寄り添い、やる気スイッチを入れる』という教師側の姿勢を文章で評価していただけて、大変ありがたく思っています。来年度もこの姿勢の大切さを職員で共通理解し、一人一人の子どもに寄り添った指導、よさを伸ばしやる気を引き出していく指導を大切にしていきます。

<⑧に関して>

教科毎のテストは、必ず直しまでしっかりしてあり、毎回の丁寧な先生方の指導に頭が下がる。

学習面では、朝活動で漢字や計算などに取り組んでいることがとてもよいと感心している。

普段のテストをファイリングして学校に置いてあり、なかなか持ち帰ってこないで、もう少し持って帰れるようになるとありがたい。

一つ一つの単元の進むペースが速いため、しっかり理解できているかどうか不安なことがある。長期休業中の学習相談日をもう少し増やし、苦手な教科の復習のための時間として、学校へ行って学習できるようになればありがたい。

国語の授業参観で、みんなが立って、個々に3回読み終わった子から座るというやり方だった。読める子はすらすら読んで座っていたが、3回読めていないのにみんなに合わせて座っている子がいた。低学年のうちは、読むスピードよりも、個々の力がしっかり身に付くやり方を工夫して欲しい。

家庭学習を見ていて、ちゃんと分かっているのかなぁとってしまうことがある。テストで点数が悪かったりする事が多いので、宿題などもただやっているだけの様な気がする。本人がやる気をもって、ちゃんと頭に入る勉強のやり方があれば、親にも教えて欲しい。

算数の計算で、時間を計ると集中力が落ちるように感じる。子どもがプレッシャーを感じて、計算自体に集中できないように見える。考慮してもらえるとありがたい。

算数が難しく、教科書も分かりにくく、計算等は出来るが文章題になると式が作れないことが多くある。家で教えることが多くあるが、答えだけでなく、考え方・式など、途中の計算等も書く指導をして欲しい。たくさんの書き込み等を褒めてやって欲しい。

「算数の練習」を使っているが、ノートへどこまで書いていいのか分からないことや問題数が少ないことから、親としては自分たちが子どもの頃使っていたような「計算ドリル」も使ってもらえたらと思う。特に5年生の「割合」では、問題数をたくさんこなすことが必要ではないかと思う。

一人一人に確実に力を付けさせるために、

- ・授業や生活の中で書く機会を多くし、書く力をきたえる。 ・テストのやり直しを確実に行う。
- ・算数の少数指導に力を入れる。 ・家庭と協力して、家庭学習習慣が身に付くよう指導する。
- ・漢字や計算など、繰り返しが必要な宿題の量を増やす。

などに取り組んできました。来年度に向けて、

- ・ドリルなどの教材の見直し ・長期休業中の学習相談日の充実
- ・個人懇談の時期の変更（学力テスト結果をもとにした個人懇談）
- ・家庭学習への意識のめたせ方の研究

について検討を行っています。いただいた意見を参考にさせていただき、さらに検討を重ねていきます。

<⑨に関して>

入学した最初の頃は給食が食べられるか心配で泣きながら登校していたが、担任の先生がいろいろ対応してくださったため、今では給食も食べられるようになり、元気に登校出来るようになりとてもありがたい。

小1、2の頃は、いじめられたというか嫌がらせをされたりして、本人もつらい思いをしたりしましたが、担任の先生の対応がすごくよく、今でも感謝している。そのおかげで、今は元気よく学校にも行くし、いじめをしていた子とも仲よくなり、楽しく通っているので安心している。これからも親身になって考えてくださる先生方であって欲しいと願っている。

友達とのトラブルがあったとき、とても不安になったが、担任の先生が子どもたちにも解決策を考えさせ、自分たちでどうしたらよい方向に進めるかをアドバイスしてくださった。担任の先生にはとても迷惑をかけたにもかかわらず、解決すると一緒に喜んでもらったのがとてもありがたかった。

先日は、嫌な思いをしている我が子に早急に対応していただきありがたかった。お陰様で今は元気に登校している。こういう問題は繰り返すことが多いので、これからも見守っていきたいと思っている。

担任の先生が子ども目線で見てください、学習の相談も一生懸命考えてくださった。子どもにとって、一生忘れられない先生になったことと思う。子どもにとって、担任の先生はたった一人しかいない。先生方も大変だとは思いますが、どうか大勢の中の一人にならないよう、今後も一人一人を大切にしていって欲しい。

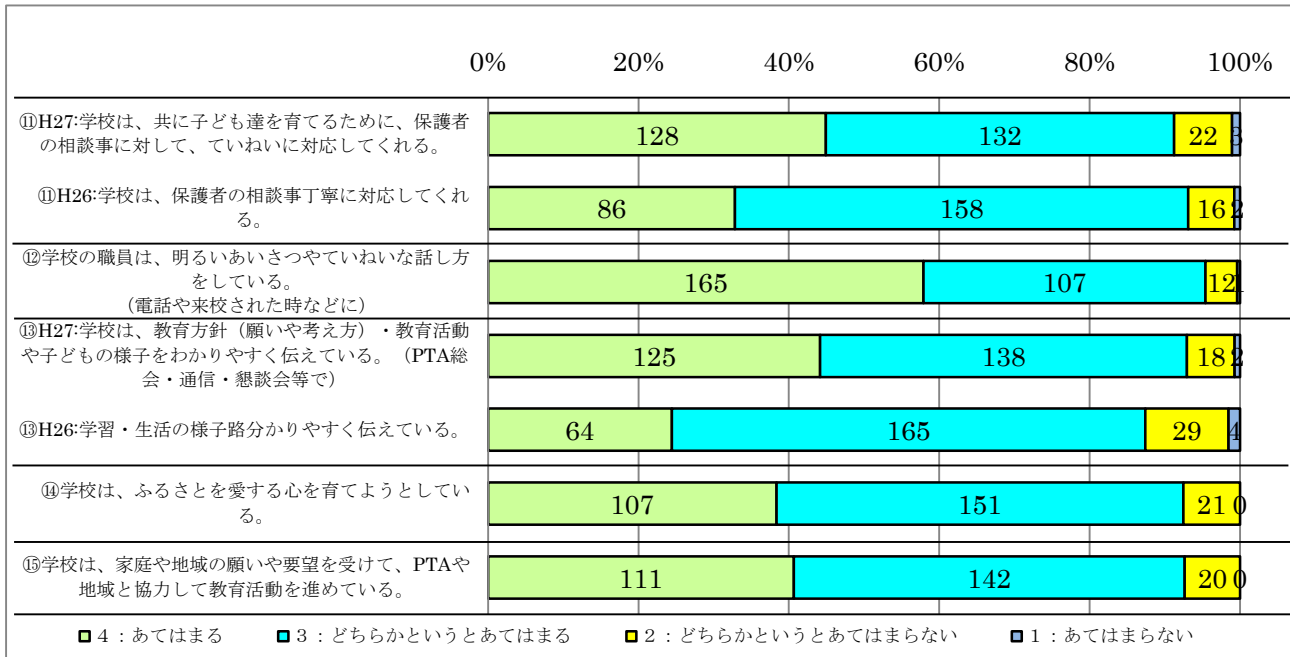
友達との上手な付き合い方（接し方）を気長に指導していただきありがたい。

先生方は、子どもたちに気を配り気を付けてくださっているが、話している内容等にも気を付けてほしい。

先生の居ないときに子ども同士のトラブルがあるとよく聞くので心配な事がある。先生に話したとき、「あっ、そうなの」などと言われると、子どもたちからしたら親身になって聞いてもらえず、流されているような感じになる。

一人一人の子どもたちの心に寄り添う指導を心掛けてきています。今後も、一人一人を大切に、一人一人の心に寄り添い、気持ちや悩みをしっかりと受け止めた上で指導にあたっていきます。また、職員自身の言動にも注意を払うよう指導していきます。

【学校の姿勢について】



- ⑩～⑮ 「あてはまる」と答えていただいた方の割合がほぼ40%を超えており、大変心強いかがりです。特に、職員のあいさつやていねいな話し方については、60%近くの方に「あてはまる」と評価していただきました。また、学校の教育方針や子どもの様子を分かりやすくお伝えすることは、家庭や地域と力を合わせて古川西の子を育てていく上で、とても大切なことだと思っています。今後も、保護者の皆様や地域の皆様とともに古川西の子を育てていくという姿勢を何より大切にし、その役割を果たしていきます。
- ⑩ 保護者の方の相談事に対してのていねいな対応について、昨年度に比べ「あてはまらない」「どちらかというにあてはまらない」という方が増えていることを重くとらえたいと思います。どの職員も、どの保護者の方に対しても、ていねいに、誠意をもって対応する職員の姿勢を、今まで以上に大切にしていきます。

【このアンケート項目に関する内容のご意見】

<⑩に関して>

親の心配事などにも対応してくださり、学校での様子など細かく教えてもらえるので、とてもよい関係ができています。今後もこのような対応をお願いしたい。
担任の先生に心配な事を相談したら、とても親身になって考えてくださった。安心して子どもを預けられるように思う。
子どもが困っている事があったときに先生に電話したら、すごく親身になって相談にのってもらえ、本当にありがたく親子共々救われた。
いろいろな相談事に丁寧に対応してもらい、うれしい。
クラスによっては、先生と保護者との話し合いがきちんともたれず、よい話を聞かない。心配。
保護者の方の相談事に対してのていねいな対応について、その姿勢を評価していただけるご意見を大変ありがたく思います。しかし、十分でない面もまだまだあります。ご指摘については、謙虚に受け止め、今後の改善を図っていきます。

<⑫に関して>

担任の先生が、いつも元気で明るく、ハキハキとしていてとても気持ちがいい。また、学校で起こったことや子どもの様子を常に気にかけてもらえて、本当にありがたい。
学校へおじゃました時に、先生方からも進んであいさつしてくださるのがよい点だと思う。

児童とのコミュニケーションをとろうとしてみえるのかもしれないが、対応の仕方を間違えてみえる先生がいる。子ども同士ではなく、あくまでも先生と子どもという立場を考え、児童に対して誠実に対応していただきたい。

3つ目のご指摘につきまして、これからどんどん増えていく若い職員に対して、教壇に立つということはどういうことなのか、児童に対してどんな姿勢で接していくべきなのかをきちんと指導していきます。

<⑬に関して>

毎月の学校の通信を楽しみに読ませていただいている。私たち親も、もっと一生懸命やろうという気持ちにさせてもらっている。これからも遠慮なく、親にも喝を入れていただきたい。

心強いご意見、ありがとうございます。今後も、学校の通信により、教育方針や子どもの様子、家庭教育で大切にしていきたいことなどを発信していきたいと思えます。

<⑭に関して>

町探検をして、自分の住んでいる地域を調べて学習することはよいことだと思う。

果樹園でのりんご作りなどの体験学習はとてもよいと思う。今後も続けていって欲しい。

体験学習を多く取り入れているが、これは大変よいことだと思う。5年生の田んぼとかは、家でも手伝うようになったりする。

学年毎に遠足や課外活動の中で、地域との触れ合いや様々な体験をさせてもらっていることに感謝している。田んぼのことに関わる学習体験、企業の見学など、家庭においてはなかなか体験が難しい活動を経験させてもらった。

飛騨市の学校教育方針は、「ふるさとを愛し たくましく生きる力を育む教育」です。本校においても、体験を通して学ぶ「ふるさと学習」に力を入れています。それに際して、多くの地域の方にご協力いただけていることに深く感謝いたします。来年度も、さらに充実させていきたいと考えていますので、ご理解・ご協力の程、よろしくお願いいたします。

【自由記述のご意見から】

<名前を「さん」付けで呼ぶことについて>

①友達の名前の「さん」付けが身に付いていて、休日に遊ぶときも「〇〇さん」と呼び合っているのが優しくて微笑ましい。

②「さん」付けは成果が出ていると思う。相手を思いやり尊重する気持ちをもつようになるし、「さん」付けすることで、相手に対してワンクッションおいて対応することが出来ると思う。長く続けることで成果が現れると思う。

③子どもたち同士で「さん」付けはおかしいと思う。小学生は、「ちゃん、くん」でよいと思う。「さん」にする意味がわからない。

④いじめ対策なのは分かるが、「さん付け」は親からするとおかしい。ちゃんやくん付けで十分。頭の固い大人の考えた変な決まり事。

⑤未だに「さん」呼びの意図が分からない。

①②のようなご意見と、③④⑤のようなご意見の、賛否両論の意見をいただきました。

相手を一人の人として尊重することで、円滑な人間関係を築くことができます。差別意識、いじめのない社会にしていけることができます。人の名前に「さん」を付けて呼ぶことについて、辞書には「敬意や親愛の意を表す丁寧な呼び方」とあります。学校は、仲間と学ぶ公の場です。そこで学ぶ子どもたちに、互いを尊重し大切にする気持ちをもたせるために、「さん」付けで呼ぶことを指導しています。また、児童の方も、古川西小7つの宝の1つとして、「さん」付けで名前を呼び合うことを取り上げて取り組んできています。

「君」「さん」「ちゃん」或いは呼び捨てという環境で育った私たち大人には、初めは違和感があるかもしれませんが、不思議と慣れるものです。今後も、「話す人の目を見て、黙って最後まで聴く」と同様に、児童会の宝としながら、形だけでなく、「西小で生活する全ての仲間を、一人の人として尊重する」という、一番大切な心の指導に力を入れていきます。

<教育相談に関して>

消極的な子は、そうでない子よりも自分の考えを心にしまい込みがちになる。クラス全体としてでなく、一個人として先生と話す機会、じっくり気持ちを聴いてもらえる時間があったらと思う。

スクールカウンセラーがあるが、仕事をしているとその時間は無理。

①につきましては、年に3回、職員が全児童と個別に話す機会を設けています（教育相談週間）。そして、このうち2回は、児童が話したい職員を指定するという方法をとっています。話しやすい先生に、自分の気持ちをじっくり聴いてもらえる場としています。

②につきましては、スクールカウンセラーの先生と県や市の契約により来校日時が指定されてきますので、それを保護者の皆様にお知らせし、希望を申し出ていただくようにしています。どうしてもということで個別にご相談いただければ、古中など、他校へ相談に行っていただくことも可能ですので、その場合にはご相談ください。

<宿題に関して>

①宿題は、学年と共に多くなってきたが、日記の宿題は、子どもの考える力や創造力などを培うことができていると思う。親子で、「あ～でもない、こ～でもない」と話ながら楽しんでいる。

②他の学校に比べて宿題が多い。子どもと親の負担が大きい。

③平日の宿題をもう少し減らして欲しいと思う。

④家庭学習の習慣付けはよいと思うが、丸付けは学校でしてほしい。何が違うか問われても、親は教師ではないし、伝え方が違う場合子どもが混乱する。高学年になると、自分で丸付けをするようになるという聞きか、間違えたところを答えを見ながら訂正することに意味があるか疑問がある。

⑤各家庭毎に状況が違う（母子家庭、子たくさん、乳児がいる、介護など）のに、家庭へ持ち帰ることが多すぎる。教員免許の意味はどこに？

①のように、日記の宿題を前向きにとらえていただきありがとうございます。日記を書くことには、「書く力を付ける」「考える力や創造力を培う」「感じる心（感性）を磨く」などの教育効果があるととらえています。今後も、大切にしていきたいです。

②③④についてですが、家庭での学習は、子どもの学力を支える重大な要素の1つです。そして、家庭での学習習慣を身に付けさせるのは、本来は「各家庭」ではないでしょうか。さて、家庭学習時間についてですが、目安として、中学生の場合は「学年+1時間」、小学生の場合は「学年×10分+10分」などと言われます。ちなみに、全国学力学習状況調査による小学校6年生の平日の学習時間（塾等も含む）は、2時間以上やっている子が全体の63%、1時間以上やっている子は88%という結果が出ています。こういった家庭学習習慣は、中学校につながる重要な習慣です。一朝一夕に身に付くものではありませんので、低学年のうちから、きちんと身に付けさせたいものです。

学校としては、家庭学習習慣を身に付けられる一助となるよう、「宿題」を出しています。宿題の丸付けについて、高学年になれば、「自分で丸付けをして、間違えていたところを直したり、次の日学校へ行って先生に教えてもらったりする。」学習方法を身に付けさせなければなりません。勉強は、自分のために行うものですから。低学年のうちから、以前にもお願いしましたように、お家の方での丸付けをお願いします。我が子の学力を支えるために。

尚、家庭学習への取り組みせ方や宿題の内容につきましては、今後、学校でも研究をしていくつもりです。また、⑤のように各家庭により事情がおりでしょうから、その旨、個々にご相談いただければと思います。ともに考えていきましょう。

<いじめに関して>

①ある学年でいじめ等の問題が起こったとき、学年等をふせて、「学校で〇〇なことがありました。家庭でお子さんに変わったことがあればお知らせください。」等、ある程度保護者に伝えてもよいのでは。保護者ともっと情報を共有してもよいのではと思う。

②いじめなど、やっている子が深く感じていないことでも、された方は大きなキズになる。年齢があがるにつれ、親の知らないことも多くなっていくので、ネットなどでのいじめに対してすぐ大人が対応できるよう、アンケートなど相談しやすい環境ができていくとよいと思う。

③最近あちこちで男の子たちのいじめ話を聞く。先生たちは知っているのだろうか？

④子ども同士のトラブル時、子ども同士で解決することはよいが、あまりにも目に余るいじめに近いものについては、被害者の保護者には報告されるが、加害者の保護者には報告しない先生が多々みえると思う。

⑤杉崎の信号を渡る通学班で、毎回、同じ子が意地悪をされている。いつもその子が置いてきぼりにされ、走って追いつこうとすると、前にいる子たちも逃げるように走って行く。高学年の子も一緒なので、とても残念に思う。追いつかれまいと、まだ信号が青になっていないのに渡るところを3回ほど見ている。一度指導していただきたい。

⑥低学年の子が、からかわれて泣きながら下校している姿を度々目にした。

学校として、「いじめは、人間として絶対に許されない」という認識に基づき、未然防止及び早期発見・早期対応に心掛けています。具体的には、

- ・心のアンケートを年間4回実施し、それを参考にしながら全職員で教育相談を行う。
- ・児童の些細な変化も見逃さないよう情報交流を行う。
- ・いじめ事案が分かった場合には、速やかにそして組織的に解決にあたる。

などです。詳しくは、古川西小学校ホームページ、「飛騨市立古川西小学校いじめ防止基本方針」をご覧ください。

ご指摘の⑤については、アンケートを読ませていただいた後すぐに事実確認をし、関係児童に指導をしました。学校では事実をつかんでおりませんでしたので、アンケートに書いていただいたおかげで迅速に対応することができ、ありがたく思っております。

①②④につきましては、今一度、「校内いじめ未然防止・対策委員会」で検討したり、職員間の共通理解を図ったりして対応していきます。

③⑥につきましては、学校で把握できていない場合もあります（例えば⑤の例のように）。古川西小をいじめのない学校、いじめを許さない学校にしたいと願っているのは、保護者や地域の方も同じだと思います。お耳にされた時点で、すぐに学校へ相談していただきたいと思います。家庭・地域・学校が、「いじめは、人間として絶対に許されない」という共通の認識で、行動に移してこそなくすことのできるものだと思います。協力し合っていきましょう。よろしくお願いいたします。

<その他児童の姿に関して>

①掃除を黙ってやっている姿を見て感心した。

②掃除の際、床に這いつくばって手でホコリを集めている姿に正直ショックだった。雑巾ではダメなのか？どれだけの保護者がこのことを知っているかわからないが、どうかと思う。

③業間にグラウンドを走るという取組はよいと思うので、できるだけ回数を多くして欲しい。

④上級生が下級生の面倒をよくみってくれるので、学校全体が団結していてよいと思う。

①についてですが、来校されたお客様もそうじの姿を褒めてくださいます。床を掃く、拭くはもちろんです。玄関そうじは一人一人のくつに付いた土を外で落としたり、一人一人のくつ箱の中を丁寧に掃除したりと、黙って一生懸命やっています。「働いて人の役に立つ」という、将来につながる素晴らしい姿だと思います。この心を、大切に育てていきたいと思っています。②については、一生懸命さから自然に出た姿だと思います。

③についてですが、来年度、業間は「体力の向上」を意図した活動を多く取り入れていくように計画しています。④については、仲よし班（縦割りの班）による活動や6年生のお手伝い給食、お手伝い掃除などで、下級生を大切にする心が育ってきていると考えています。今後も、縦のつながりを大切にしたい教育活動を継続していきます。

<生活指導全般に関して>

①あいさつ運動をしている、学年の交流が多い、自然と触れ合う機会がある、食育に力を入れている点がとてもよいと思う。月に1度の「命の日」、自分の命、人の命の大切さについて学ぶ機会があること、いじめを苦にして自らの命を絶ってしまうという世の中で、とても大切な事だと思います。

②生活面では、あいさつ・さん付け・そうじなどへの取組がとてもよいと感心している。

③一人一人を大切にすることや、やってよいことダメなことについて、子どもたちにしっかり話して欲しい。

④最近はスマホやゲームが普及し、子どもたちの間では、そういった機器を通しての遊び、コミュニケーションが大部分となっている。本来の声をかけ合ったり、体を使っての遊びが少なくなっていることに危機感を覚える。

⑤家族の多い家庭が多く、お年寄りの意見や温かい気持ちを知らぬうちを感じている子どもたちは、都会に比べると多いと思う。農業などに親しんでいる点もよいと思う。一方、「やんちゃ=よい事」と思われている古川地域の気質？には疑問を覚える。もっと心の教育をして欲しい。規則正しい生活は大切だが、生活態度を徹底的に厳しく整えることよりも、個々の子どもたちの笑顔を大切にしたい。

⑥いじめ・不登校・中学への不安、全国的な社会問題がここ古川にもあることは何故かと思う。都会にない温かさ、優しさがもっとあっていいと思う。他人の気持ちを大切にすること、個性を認め合うことを教えて欲しい。

⑦学力の向上を目指すことはとても大切だと思うが、それを追い求めるあまり、子どものよさに目を向けていない先生もいるように感じる。大人の考えを押しつけるのではなく、自分で考え自分で行動する力を身に付けて欲しいと思うので、学習面だけに目を向けるのではなく、生活面にも目を向けて欲しいと思う。

学校の教育目標にある「心ゆたかな」が、古川西小学校で一番大切にしていることであり、目指しているものです。①②のご意見にもありますように、あいさつ運動・「さん」付け・掃除・命の日・委員会活動・当番活動等々、様々な指導や活動を通して、「他人を思いやる心、生命や人権を尊重する心、自然や美しいものに感動する心、正義感や公正さを重んじる心、勤労観・職業観等」ゆたかな心を育てていきます。

特に、「命の日」については、来年度は、全校一斉に命に関わる指導を行うこととしました。また、「ありがとうの木」の取組を見守り活動の中心におき、あいさつ運動やあったかい言葉かけ運動等にも取り組んでいきます。

<登下校に関して>

①1, 2年生下校と言いながら、学校を出たら結局バラバラに帰っている。家は学校から距離が有り、1年生の子は、3年生のお姉ちゃんより帰りが遅くなる。1人で帰ることが多いので心配だった。下校時刻や方法をもっと少し考えてもらえるとありがたい。

②一斉下校は班長さんがきちんと誘導していてとても安心できる。1, 2年生下校や1年生だけの下校時は、班がバラバラになったり、走って先に行ってしまうと一人ぼっちになったり、列が車道まで出たあたりということがあつた。遅いからと後ろから押されたということも聞く。大人の目がなく、唯一子どもたちだけで帰る下校の安全について、「命を守る」ということで、しっかり指導していただけるとありがたい。

③下校時、プール側の横断歩道を渡る際、左右をしっかりと確認せずに渡る子がいる。保育園の迎えの車がよく通る時間帯なので、誘導してくれる方に常に立っていただけるとありがたい。

④集団下校の際、プール横の門の所で先生が見てくださってありがたい。止めどなく子どもたちが歩くので車が通ることができず危ない。止まって車を通してくれようと気遣ってくれる児童もいる。

⑤通学班の事で、集合時間の変更などはどのように伝えているのか？ちょくちょく変更があるようだが、親の方へは伝わってこない。

⑥通学班の事で、時間厳守を学校の方でも呼びかけてもらえるとありがたい。家の前で待ち合わせてから次の集合場所へ行くのだが、なかなか時間通りに集まらず、毎日走って向かっている。これから雪が降ると除雪もしないような道なのでとても危険。一度指導していただきたいし、たまに先生方が抜き打ちで立ってもらえるとありがたい。

下校について、①②③④の意見をいただきました。集団下校ではない場合にも、プール側の横断歩道に誰かが立つようにします。また、1, 2年下校についても、ある一定の周期で付き添い下校を実施し、指導を繰り返していきます。

⑤についてですが、学期末の通学班集体会で集合時刻を変更したり確認したりします。そして、各児童が親さんの方へ伝えるよう指導しています。次回の通学班集体会においても、再度、集合時刻を親さんに伝えるよう指導します。また、通学班長が困っていること（時間を守らない、言うことをきかない等）についても、事情を確認したり、担当から指導したりするようにしています。

<服装に関して>

①体育の時に体操服を持って行って着替えているが、わざわざ着替えなくても体操服を着ていけばよいと思う。子どもはすぐ大きくなり、体育の為だけに体操服を買うのはもったいない。運動会時期は、洗濯物が増えるし、毎日重いランドセルにお茶と着替えをもっていく。どれだけ子どもたちの負担になるか考えて欲しい。

②通学用の帽子の色は何故白なのか？黄色の方が目立つからよいのではないか。

②については、どういう経緯で白帽子になったのかを示す記録はありませんが、論議された上で決定し、長年伝統として続いてきている形です。

①について、西小学校の生活のきまりでは、「登下校：私服に名札を付ける。」とだけ規定しています。これは、指定の体操服での登下校を禁止するものではありません。ただし、以前にも登下校の服装のことがPTAで話題となり各学級で保護者の方に話し合ってもらった結果、「運動して汗をかいた服で一日過ごすのは衛生上よくないので、着替える習慣付けをして欲しい」ということになり、それを今も継続しています。そのことを受け学校は、2階に更衣室を造ってもらっています。

西小学校の服装については、「活動しやすい・華美にならない・不要なアクセサリを付けない」を基本として、家庭とお子さんで判断していただくものです。①についても、②についても、必要とあればPTAの話題としていただければと思います。

尚、運動会時期には、指定の体操服で登下校してもよいことを子どもたちに確認しています。

<PTA活動に関して>

①懇談会の出席者が少なすぎる。今後、スキーの指導者だけでなく、学校の行事にも参加してもらえるのか不安に思う。

②先日の学級懇談会では、子どもについてのネットに関する話題のみだった。それ以外のことで、心配な事や気になる様子などをもっと話せる場になればよいと思っている。

③読み聞かせボランティアに参加している。毎回、子どもたちのキラキラした目を見たくて、絵本選びも楽しんでやっている。昨年までは、毎回、読みに行ったクラスの子どもたちから感想をもらって、本選びの参考にもしていたが、今年はなかったので、少し淋しかった。

④PTAの学級委員は1回限りとし、1度やった人は他の兄弟姉妹のところでは免除して欲しい。(何回もやる人がいるので)

⑤空弁当の日やおにぎりデー等、母親委員企画の行事は無駄だと思う。以前、母親委員の方が、仕事が多すぎて大変だと言ってみえた。

⑥スキー教室の手伝い(指導者)をボランティアの方を募った方がよいかと思う。保護者では、仕事の都合等で参加できにくいのでは。お金を払って指導していただいている小学校もあるように聞く。

⑦スキー用具や体操服など、小さくなった物を集めて、次の学年の子にまわしたどうか。特にスキー用具は、スキー教室だけスキーをする子もいると思うので、リサイクルできたらよいと思う。

⑧授業参観では、普段の授業を普通に行っているところが見たい。

①についてですが、私も懇談会を回らせていただいて、出席いただいている方が少ないことが気になっております。②も含め、学級懇談会に多くの方が来ていただけるような内容や方法を、PTAの話題としていきたいと思っております。よい案がありましたら、是非お知らせください。尚、来年度、家族参観日にどれだけでも多くの方に来ていただけるよう、日曜日に設定する方向で考えています。

③につきましては、多くの方にボランティアとして来ていただき、大変ありがたく感謝いたしております。ご指摘の点につきまして、来年度に生かしていきます。④については、「誰もが1回はやるべきだ」というお考えととらえています。PTA 役員会でも話題としましたが、ご意見の通りに規定しますと、児童数が少ない学級では誰もやっていただける方がいなくなってしまいます。「誰もが1回は」の方向でいければと思います。⑤につきましては、母親委員さんのお骨折りにより子どもたちの「食」に対する意識が高まっていることは事実で、その、親として子どものことを考えた、そして奉仕の精神での取組に感謝しております。「仕事が多すぎて大変だ」ということにつきましては、PTA 常任委員会の折りに、こういった意見があることを伝えました。

⑥につきましては、今年度も3名の地域ボランティアの方に助けいただきました。今後も、保護者の方で協力いただける人数が少ないような場合は、ボランティアの方をお願いしていきます。お金を払って指導者に来ていただく場合、かなりの負担が発生します。参考までに、流葉スキー学校の指導料は、2時間で13,300円です(1グループ5人として、一人あたり2,660円)。このご意見につきましては、学級PTAでの話題としていただければと思います。

⑦につきましては、PTA 役員会の折りにお伝えしました。⑧につきましては、来年度、どれだけでも普段の授業を見ていただく方向で考えています。

<地域に関して>

- ①見守り隊の方など、子どもたちを安全に見守ることに携わっていただける方があり、とてもありがたい。
- ②登下校時、地域の方が見守ってくださる体制が整っていてとても安心だ。
- ③プール側の横断歩道付近に車を停める方がいる。保育園の迎えの際、子どもたちの下校と重なりとても危険なので、止めてもらうようにしてほしい。

①②について、地域の見守り隊の方には、本当に頭が下がります。これに甘えず、児童の安心安全な登下校について、学校は学校でできることを、家庭は家庭でできることをやっていかなければならないと思っています。

③については、止めてもらうよう PTA 総会の折りや、止めておられた折に注意を促していきます。

<その他1>

- ①子ども同士のけんか等、報告いただけるのはよいと思うが、「相手の親さんが怒っているからお詫びに行って欲しい」等の電話は迷惑だった。子ども同士で解決できない場合は、先生に間に入ってもらい、無理な場合には保護者同士が相談するのではダメですか？
- ②昔は写真の注文があったが、今はない。遠足の様子の写真など、参観日の時に見て欲しいのがあったが、そういう写真はどうなるのだろう？1年生最後の時、冊子を先生に作ってもらい嬉しかったが、全部が全部写真が貼ってあるわけではなかった。とてもいい写真があったので、カラーコピーでもよいので欲しい。
- ③学年末に持ち帰る作品袋について、去年はクレヨンで袋に絵を描いていたが、家に持ち帰ったときジャンパーにクレヨンがびっしり付いて洗濯が大変だった。保管するにもそのままでは他に付いてしまうので、クレヨン以外の物で描くようにしてほしい。
- ④図工・音楽・書写については、クラス間の差をなくすために学年統一して指導して欲しい。
- ⑤多くの子どもたちが学校以外でも頑張っている（スポ少など）。校内で表彰されると子どもたちも嬉しいと思う。
- ⑥運動会のグラウンドへのテント等の持ち込みについて、少し考えた方がよいのではと思う。見た目もよくないし、強風が吹くことも予想される。年々数が増えているようなので、気になっている。
- ⑦グラウンドの野球少年団が使用している場所に、以前、灰皿が置いてあるのを見かけた。学校敷地内は禁煙のはずだが。野球少年団側のフェンスに、木の棒をさしてテントのように使用してあるが、学校の方には許可を得ているのか。学校はみんなのもの（市民のもの）なので、張りっぱなしのテントなどは気になる。

①についてですが、学校の基本姿勢は、「謝罪に行かれる行かれぬは、各家庭で判断して行っていただくこと」です。そして、親さんがお子さんを伴って謝罪に行かれる行為は、我が子に対して「あなたのしたことは、こんなにも大変なことなのですよ」と、親の姿で深く感じさせる意味があると捉えています。①の方への伝え方が十分ではなかったことをお詫び申し上げます。

②についてですが、行事等の写真については、学級掲示や通信に使用することを目的に撮っています。お気持ちは分かりますが、学校として一覧を作成して注文をとったりということは致しかねますので、ご理解の程よろしく願います。

③については、早速この3学期から対応させていただきます。

④については、担任同士が話し合いをしながら進めています。今後も、担任同士の連携や共通理解を大切にしながら、そして、ベテラン教師と一緒に見てあげたりしながら、児童に力を付けていきます。

⑤についてですが、今年度から、スポーツ少年団等が表彰を受けた場合、全校集会の場で紹介し全校児童で拍手を送るようにしています。来年度もその方向でと考えています。

⑥については、PTA 役員会での話題としていきます。

⑦についてですが、灰皿については教頭がよくグラウンド周りや校舎周りを見回っていますが、今年度については常時置いてあるのは確認しておりません。グラウンドは市の施設であり、スポーツ少年団は生涯学習課の管轄になります。いつの年かに、スポ少から生涯学習課へ許可願いが出され、生涯学習課は学校へ問い合わせ、学校は「教育活動には支障がありません」とお答えして現在に至っていると思われれます。

<その他2>

- ①個人的に、今年度の学校の雰囲気がとてもよくなったように思えて、安心して先生にお任せしている。子どもも私も、担任の先生を信頼しているし、大好きです。校長先生の熱意、教頭先生が毎朝掃除をしてくださる姿、担任の先生の明るく一生懸命な姿、子どもたちはそのような姿を毎日見せてもらうことで、どれだけ多くのことを学べるだろうと感謝している。
- ②毎日、安心して学校へ通わせることができています。
- ③様々な生き物や事柄等の環境を工夫してもらい、子どもたちは幸せだと、日々感謝している。
- ④幅広く興味をもてるような工夫をしてくださることに感謝している。
- ⑤先生方が丁寧に宿題を見てくださったり、声をかけてくださったりしてありがたい。
- ⑥担任の先生が、とても熱心に子どもたちを見てくださっていると思う。
- ⑦いじめや仲間外れなどの話は聞いていないので、今のところは安心しています。クラスがまとまっているようなので、先生方の指導のおかげだと感謝している。
- ⑧担任の先生のおかげで、クラスの子たちが、本当に前向きで素直に楽しい学校生活を送っている。
- ⑨時々、「先生に褒められたり励まされたりして嬉しかった」と言ってくれる。先生の声かけをありがたく思う。
- ⑩担任の先生の、「子どもを否定せず信じる姿」を信頼することができ、子どもからも一度も文句が出なかったことが一番ありがたかった。
- ⑪帰宅後、その日の出来事をよく話してくれる。担任の先生が親身になって話を聞いてくれることが嬉しいみたいだ。先生を信頼して学校へ通えることがありがたい。
- ⑫何かにつけて比較するのは止めて欲しい。100問計算のタイムや宿題の量などを、他校と比較するのはどうかと思う。
- ⑬6年生の我が子は少し幼いような気がする。あと数ヶ月で中学生なので心配している。楽しく面白おかしくというのもとても大切だが、真面目に重々しくという姿も出てきて欲しいと願っている。もっと伸ばし、褒めてやって欲しい。大変かとは思いますが、プロとして、よろしくお願ひしたい。
- ⑭来年、1クラスになるのがすごく心配だ。特に友達関係でいろいろ起こりそうで心配している。
- ⑮今のままの人数だと来年から1クラスになることを、12月の段階から教えていただけ、親も子も心の準備ができてよかった。
- ⑯今の学年は、若手の講師の方が担任になることが多かった。6年生は中学に入る前の大事な年だと思うので、配慮をしていただけるとありがたい。

①～⑪：今年度、職員が半分ほど替わった中でスタートし、一人一人の児童に「寄り添う」「やる気スイッチを入れる」を職員の合い言葉としてやってきました。まだまだ不十分な点は多々ありますが、ベテランも若手も、一人一人がもつよさを発揮しながら精一杯子どもたちと接してきました。これらのご意見を励みとして、今後も「古川西の子」のために、情熱をもってその職責を果たしていきます。

⑫⑬について、私たちの姿勢として謙虚に受け止め、正していきます。

⑭⑮：現3年生が40名ということで、保護者の方にもご理解いただこうと、早めに話させていただきました。幸い、2月に転入生があることが分かり、現状のままですと4月から2学級でスタートできそうです。

⑯どの学年の担任についても、子どもたちのことを第一に考え、現有の教員の中でそれぞれが力を発揮していけるような組織で新年度をスタートさせていきます。

【学校評議員の会でいただいたご意見】

1 保護者アンケート結果から

- 時代の流れであろうか。保護者の中には、学校に求めるだけで、学校に何かしてあげると意識が失われている方も存在するようになってきた気がする。
- 保護者が子どもとの時間を共有できる時は、今しかない。子離れが進んでからしか気づかないかもしれないが…。学校行事に協力するなど、もっと子どもに関わってあげて欲しい。
- 先日の地域の集会でも、児童の「さん」付けに関する話題が出た。「本当に親しくなったら、さん付けはしませんよね。」という人がいて、「そうですねー。」という雰囲気が終わった。いずれにしても、学校でもどこでも相手を敬う気持ちが大事。学校は公的な場だからこそ、互いを尊重し合う呼び方でないといけない。
- 「学校は知っていますか？」というような意見があるが、よくない姿を見たり、いじめの話が耳に入ったりしたら、すぐに学校に連絡するべきだと思う。
- 懇談会では、いろいろなことを話題にしていくとよい。
- 極端な意見もあるが、評価する意見も多い。評価する意見を大切にして、自信をもってやってもらえばいい。

2 「学校の教育目標」の変更案に関するご意見

- 今の児童にたくましさはやや欠けていること。そして、近所の人、地域の人等、さまざまな人と協力しながら生きていくことの大切さを具体的に示してあることがよいと思う。
- たくましさを身に付けていくためには、例えば、りんご学習などのように、校外へ出て行って直接体験することが重要である。こうした機会をどんどん仕組みで、ふるさとへの愛着も育てていくとよい。

